

<横浜市議員（旭区選出）古川なおきの活動報告>

第44号
2004年10月15日
一月刊



古川なおきレポート



古川レポート編集部 〒241-0825 横浜市旭区中希望が丘252-50
TEL.045-391-4000 FAX.045-366-9700 naoki@furukawa2002.com

ネーミングライツ（施設命名権）は

日産スタジアムに決定!

皆様お元気ですか？
私が平成14年に決算特別委員会で提案した横浜国際総合競技場のネーミングライツ（施設命名権）が年間4億7千万円（5年契約で23億5千万円）という好条件で日産自動車に決まりました。少し大げさな言い方もかもしれませんが、たった一人の市会議員でも、議会で提案し市の財政に貢献する大きな政策を実現できたことを世の中に示すことができましたと思っています。

この政策は、私の支持者で、大企業の海外駐在を経験されたコンサルタントの方からのアドバイスがきっかけでした。当時（平成12年）はネーミングライツという言葉も聞いたことがなく、アメリカをはじめとする海外の事例に驚きました（2面参照）。もちろんまだ日本では、ネーミングライツを実現している自治体は一つも無かったので、年間約6億円にものぼる国際競技場の運営管理費の赤字分を削減できることは、とても画期的で、興奮しながらお話を聞かせていただいたことを今でも覚えています。

私もはじめは公共施設に民間企業の名前を付けることに多少の抵抗感はありましたが、市の財政状況を改善するためには、今までの行政の発想ではなく民間の経営感覚を持って決断するべきだ！と考えていました。ただ、私も新し

い政策を提案する時は市民の皆様のご意見が気になるので、旭区を中心に「市政目安箱」でアンケート調査を実施しました。結果はお返事をいただいた方の80%がネーミングライツを支持されたので、議会でも自信を持って提案しました（古川なおきのホームページでレポート23号をご参照ください）。しかし、当初市は国際競技場に単に愛称を付ける事だけを検討していましたので、市の財政にメリットがあることを強く説いて要望を続け、最終的に中田市長の決断でネーミングライツが実施されることになったのです。

その後平成15年5月からパートナー企業を募集しましたが、年間2〜3億円ならば契約するという企業はあっても「年間約5億円で5年間」という条件ではなかなか手を上げる企業はなく、私も心配していました。そして、今回の発表です。

以上がネーミングライツの提案からの経緯ですが、あらためて政策決断された中田市長、日産自動車と粘り強く交渉された当局の方々のご努力に敬意を表します。今までの行政の発想ではなく、行政自らが収益を確保しよう！と努力したことは大変すばらしいと思います。

さらに、これも再三議会で提案しましたが、横浜市はホームページや「広報よこはま」

等の広報物には民間の広告が入るようになりました。引き続き「お役所仕事」ではなく、コスト意識や民間の経営感覚を3万人の職員と共有し横浜市を発展させていきたいと思っています。

ところで、現在全国の大型公共スポーツ施設は運営経費に苦しんでいます。ワールドカップスタジアムでのネーミングライツは横浜が初めてなので、横浜の成功事例が全国の自治体に波及していくことを願っています。

今後先進的な政策を提案し、市民サービスの向上と行政業務の効率化に努めていきますので、皆様のアドバイスをよろしく願います！食欲の秋です。食べすぎにはくれぐれもご注意ください！

横浜市議員 古川直季

古川なおきプロフィール

昭和43年8月31日横浜市生まれ 35才
県立希望ヶ丘高校卒業
明治大学政経学部卒業
横浜銀行勤務後、議員秘書となる
平成7年横浜市議員初当選(26才)
自民党横浜市支部連合会副幹事長
平成16年度市民建築常任委員会副委員長
平成16年度情報化社会推進
・危機管理対策特別委員会
希望ヶ丘高校同窓会桜蔭会評議員
旭区スポーツダンス協会顧問
旭区サッカー協会顧問
横浜青年会議所(JC)
日本動物福祉協会横浜支部支部長
鶴ヶ峰商店街協同組合顧問
卓球本間クラブ所属

古川なおき10~11月 主な予定

- 10月
- 7~22日 決算第一特別委員会
- 14日 都市計画局質問
- 16日 旭区防犯タウンミーティング
- 18日 教育委員会質問
- 19日 議会あり方調査会
- 22日 決算特別委員会採決
- 24日 旭区民スポーツダンス大会
- 25~26日 アーバンユースネット総会
- 31日 旭区民ふれあいまつり
- 11月
- 1日 議会あり方調査会
- 7日 スペシャルオリンピックス
- 10~12日 市民建築委員会

ネーミングライツ売却により 横浜国際総合競技場は変わります！

日産フィールド小机
(旧小机競技場)

日産スタジアム
(旧横浜国際総合競技場)

日産ウォーターパーク
(旧スポーツコミュニティフラザ)

☆2003年度 横浜国際総合競技場来場者数

種別	利用日数	来場者数
Jリーグ	21日	50万人
国際大会	2日	13万人
陸上競技	15日	16万人
コンサート	4日	28万人
フリーマーケット	10日	21万人
その他イベント	137日	92万人
ウェディング	7日	588人
トラック個人利用	96日	7,038人
合計	189日	220万人

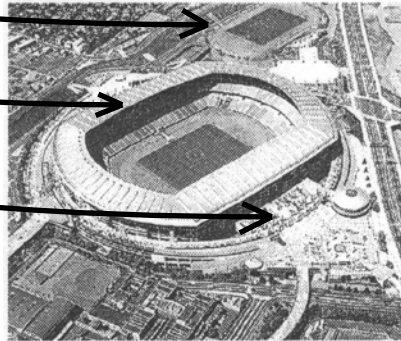
※古川なおきは昨年、国際競技場に5日行きました！

☆ネーミングライツ他施設との比較

施設名	導入時期	契約期間	契約金額	1年では
日産スタジアム (神奈川県横浜市)	2005.3.1	5年	23.5億円	4.7億円
味の素スタジアム (東京都調布市)	2003.3.1	5年	12億円	2.4億円
Yahoo!BBスタジアム (兵庫県神戸市)	2003.3.31	2年	2億円	1億円
セーフコフィールド (アメリカ)	1999年	20年	4,000万ドル (約48億円)	2.4億円
ペプシセンター (アメリカ)	1999年	20年	6,800万ドル (約81.6億円)	4.08億円
リライアントスタジアム (アメリカ)	2000年	32年	3億ドル (約360億円)	11.25億円
AOLアリーナ (ドイツ)	2002年	5年	3,000万ドル (約36.5億円)	3.3億円
BTネット・リパ・サイト ・スタジアム(イギリス)	1998年	5年	340万ポンド (約5.95億円)	1.19億円

国際競技場の命名権、日産に売却

横浜市、収支改善を期待



来春から「日産スタジアム」

横浜市が日産自動車へ命名権の売却を決めた横浜国際総合競技場

赤字補てん、大幅減

横浜市は七日、同市が所有する国内最大の競技場、横浜国際総合競技場の命名権（ネーミングライツ）を日産自動車に売却することで基本合意したと発表した。契約期間は来年三月からの五年間で、契約額は総額二十三億五千万円（年間四億七千万円）。市は競技場を「日産スタジアム」と名称変更することで収支改善につなげ、財政支出の削減を目指す。

競技場は一九九八年三万二千で、二〇〇二年三月の開業。座席数は約七万五千。サッカーワールドカップの決勝戦会場にもなった。ただ〇三年度は年間利用日数が百八十九日にとどまるなど採算的に厳しく、〇四年度は横浜市は競技場への補てんとして約四億四千万円を予算計上している。

市は昨夏に命名権の売却先企業を募集したが「年間五億円程度、契約期間五年以上」の条件を満たさず企業が現れなかった。継続して売却先を探したところ、今年七月に日産から申し込みがあったという。

横浜市内で同日記者会見した中田宏横浜市長は「競技場を持つ価値を十分理解してもらった。〇四年度の予算ベースで見ると市の年間負担額は二千四百万円に減るの見込み。自立的な経営基盤を確立できる」と強調した。

記者会見での中田宏横浜市長と松村矩雄日産自動車副社長の主な発言は以下の通り。
——売却先を日産に決めた最大のポイントは、中田氏「公正な手続きを至上命題としてやってきた。昨年七月の応募では金額が折り合う企業がなくて、継続して個別に交渉してきたところ、日産の提示額が頭一つ出た。横浜市への

市長「最もふさわしい相手」

日産「新車発表の会場にも」

本社移転を含め、一番ふさわしいパートナーと思う。日産は契約期間を終えた後は更新するのか。松村氏「基本的には続けたいと思う」。五年で二十三億五千万円を投じるが、どれだけ宣伝効果があるかを見ていくのか。松村氏「横浜F・マリノスの選手やサポーターに本

当の意味でのホームグラウンドと感ぜてもらえるなど金額に換算できない面もある。新車発表会などにも使うかもしれない。日産の名前が冠に付くことで様々な大会の誘致に制約は出ないか。中田氏「日本サッカー協会とも、命名権売却が大会開催などの妨げになってはいけないという共通認識を

検索エンジンのGoogleやYahooで「ネーミングライツ」を検索すると、古川なおきのホームページがトップにでます。ぜひお試しください！